

輝く菊西つ子

NO.14
R 5.3.28
菊陽町立
菊陽西小学校
文責：吉永公紀



感動した卒業式 141名の卒業生が3月23日に卒業証書を手にして卒業しました。3年ぶりに5年生も参加し、卒業生の姿をしっかりと目に焼き付け、次の西小を担うのは自分たちという思いを強くしていました。式では、大谷翔平、村上宗隆、藤井聡太の共通点の話をしました。一つ目は 夢中になれるものに出会い、自分のなりたい夢を子ども時代から持っていたこと、二つ目は 三人とも超がつくほど負けず嫌いだということ。負けたら大泣きしたり、勝つまでやめなかつたりしたという行動は、一見すると短所に見えます。しかし、見方を変えると、「幼い時からやり抜く力や粘る力を学び自分の夢や目標に向かってどんな困難なことがあっても努力する心を磨いていた行動」ともいえます。長所だけでなく自分が嫌いだと思っている短所も実は長所以上に大きな可能性を秘めている、だから長所も短所も自分の個性としてまるごと受け入れ、それを磨いてほしいということを伝えました。また、夢は他の人の力を借りて実現することもできる。友達や家族の夢・思いを自分の夢や目標に重ねることで学びに向かう力が湧いてくるので、学びと絆を力にしてがんばってほしいということを伝えました。

修了式の話 今年度最後の修了式で竹の話をしました。

竹がしなやかで折れにくいのは、節があるからです。実は節の間隔は地面に近い方が短く、先になるほど長くなります。それは土台をしっかりとするための仕組みです。学年の終わりと始まりの生活をしっかりとすることで、皆さんの節はより確かなものになり、たくましく成長していきます。新学年の準備をしっかりとがんばってほしいと伝えました。



令和四年度も保護者や地域の皆様のご協力のおかげで無事修了することができました。今年度西小では、二十四名の職員が退職・転任することになりました。それぞれ西小での在職期間は違いますが、西小で働き、子供たちと教育活動をもてなすことができたことは、自分たちの財産になる、と、皆さんが口々に言われていました。菊陽西小が地域や保護者の皆様を支えられていたことに感謝の念でいっぱいになりました。また、創立四十周年を新たなメンバーで迎えられ、さばらばらに子供たちや学校が成長する一年になることを祈念しております。